

適 用 規 格					
定 格	使用温度範囲	-40℃ ～ +85℃ (95%RH MAX)	保存温度範囲	-40℃ ～ +85℃ (95%RH MAX)	
	電 力	50/√f W 以下 [f:GHz]	特性インピーダンス	50Ω (0 ～ 26.5 GHz)	
	特 殊 性	—	適合ケーブル	—	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表 示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	接 触 抵 抗	100 mA (DC OR 1000 Hz) 以下で測定する。	中心コネクタ 8 mΩ以下 外部コネクタ 8 mΩ以下	○	○
	絶 縁 抵 抗	DC 500Vで測定する。	5000 MΩ以上	○	○
	耐 電 圧	AC1000Vの電圧を1分間印加する。(漏洩電流2mA以下)	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
	電圧定在波比 $\triangle_2$	周波数 0 ～ 26.5 GHzにて測定する。	VSWR 1.25 以下 (0～12.4GHz) VSWR 1.3 以下 (12.4～18GHz) VSWR 1.4 以下 (18～26.5GHz)	○	○
	挿 入 損 失	周波数 ～ GHzにて測定する。	d B 以下	—	—
機 械 的 性 能	単体挿抜力	$\phi 0.9017^{+0}_{-0.0025}$ の鋼製ピンで測定する。	差込力 N 以下 引抜力 0.3N 以上	—	—
	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。	差込力 N 以下 引抜力 N 以上	—	—
	繰り返し動作	1000 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗: 中心コネクタ 12 mΩ以下 外部コネクタ 12 mΩ以下 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐 振 性	周波数 10 ～ 2000 Hz, 片振幅 0.75 mm, 加速度 196 m/s ² で 3 軸方向各 4時間 試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐 衝 撃 性	加速度 1960 m/s ² , 持続時間 6 ms, 正弦半波 3 軸方向各 3 回試験する。		○	—
	ケーブルクランプ 部の引っ張り強度	N以下の引張力をケーブル軸に加える。	① ケーブルの抜けや断線等のないこと。 ② クランプ 部の破損がないこと。	—	—
環 境 的 性 能	温湿度サイクルの 耐湿性	温度 +25 ～ +65 ℃, 湿度 90 ～ 98 %中に 10 サイクル (240 時間) 放置する。	② 絶縁抵抗: 100 MΩ以上 (高湿時) ③ 絶縁抵抗: 1000 MΩ以上 (乾燥時) ③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -40 → — → +85 → — ℃ 時間 30 → 3 → 30 → 3 分 を 5 サイクル試験する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	塩 水 噴 霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	VSWR 1.4以下 (0 ～ 26.5GHz) $\triangle_2$	○	—
$\triangle$	$\triangle$ の数	訂正記事	設計	検図	年月日
2	2	DIS-D-00001324	MH. OGUSU	KY. SHIMIZU	16. 07. 08
備考			承 認	KY. SHIMIZU	15. 11. 12
RoHS適合品			検 図	KY. SHIMIZU	15. 11. 12
電圧定在波比 (VSWR) は、HRMP-SMA (R) P (CL-323-0009-0-00) と組合せて測定。 試験規格の記載のない試験方法は IEC 60512 (JIS C 5402) を適用している。			担 当	TO. KATAYAMA	15. 11. 12
			製 図	MH. OGUSU	15. 11. 12
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目		図番	SLC-366796-00-00		
HRS	製 品 規 格 表		製品名	HRMJ-SMA (R) J	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL323-0011-0-00	$\triangle_2$ 1/1